

「地区ロータリー財団セミナー報告」と 「財団情報」

ロータリー財団委員会 委員長 **溝畑正信**
(東大阪東RC)

日時：2014年8月30日(土) 14:00～17:00

場所：大阪YMCA会館 2Fホール

地区ロータリー財団セミナーがG主宰で開催されました。クラブの会長、ロータリー財団委員長、奉仕部門担当実務者の皆様を対象に、泉 博朗G、近藤雅臣元RI理事/PG、若林紀男PG、大谷 透地区R財団部門顧問/地区研修委員会サブリーダー/PG、災害支援プロジェクト委員長 福家 宏直前G、立野純三GE、松本進也GN、地区研修委員会、AG、AGEの皆様など多数の指導者のご参加を頂きました。司会は川上富清地区代表幹事が務められました。

泉 博朗 G

本日の地区ロータリー財団セミナーで、クラブ会長、財団委員長、奉仕担当委員長は、寄付の使い方・使い道を学んで頂きたい。昨年度、地区補助金で44件、グローバル補助金では人道分野で10件、奨学金で3件承認された。今年度は地区補助金で38件承認された。全クラブに配分されたとの考え方もできる。年次基金寄付の目標額は最低これくらいお願いしたい、またベネファクターやPHS、メジャードナー、アーチクランフと多額の寄付を頂いている。皆さまの意思が地区、全世界にわたっている。全世界で力を合わせて大きなプロジェクトをするというシステムである。今日財団の勉強をしてクラブに帰って皆さんにお伝え願いたい、と挨拶されました。

ロータリー財団部門顧問 大谷 透 PG

ロータリー財団はロータリアンの奉仕活動の牽引車、エンジンはロータリアン一人一人の寄付。ロータリー財団の健全性は我々にかかっている。熱心さにかかっている。ボランティアの団体なので命令することはできない。それは役職にある人のリーダーシップで、①人々をその気にさせるよう率先しよう、クラブの誰よりもまず自分が寄付しよう。②今年の標語は“ロータリーに輝きを”、まず自分が寄付をして輝いて欲しい、そして人にも輝いてもらうように。③Light up Rotary 財団、その良さ、有意義さをクラブは財

団の基金を役立てるように、と話されました。

ロータリー財団委員会 溝畑正信 委員長

“ロータリー財団の戦略”というタイトルで、まず2014-15年度のロータリー財団の目標であるポリオ撲滅、継続的な寄付、新補助金プログラムの発展、ロータリー平和センター、ロータリー財団の未来の健全性に沿って話しました。

そして、ロータリー財団の長期戦略、年次基金の流れ、第2660地区財団活動資金(DDF)の配分、昨年度のグローバル補助金承認実績の日本、第2660地区について話しました。

ポリオプラス小委員会 木村芳樹 委員長

END POLIO NOWを完遂するためのポリオ撲滅エンドゲーム戦略計画2013-18の2015年までに野生株ポリオの撲滅、2017年までにワクチン由来の感染源対策、2018年地球上からポリオ撲滅宣言への協力を要請致しました。

資金推進小委員会 松下和彦 委員長

“資金推進を考える ロータリーの心をつなぐ”というタイトルで、ロータリー財団の寄付と認証：寄付の種類<年次基金および使途指定寄付、恒久基金>、クラブ別年次寄付一覧、ロータリー財団への寄付は、税制上の優遇措置の対象となることについて話し、財団への寄付増進とロータリーカードへの入会を要請致しました。

ポールハリス・ソサエティ 辻川功一 コーディネーター

ポールハリス・ソサエティは、年次基金、ポリオプラス、財団が承認した補助金プロジェクトへ、年間1,000米ドル以上を寄付頂いたロータリアンやロータリー財団支援者を認証するためのプログラムで、理解と協力を要請致しました。



補助金小委員会 職業研修チーム担当グループ 川本典美 リーダー

VTT FAQで、VTTとは、またVTTの素晴らしい点、地区補助金とグローバル補助金のVTTの違い、実例等について説明致しました。

地区財団資金管理小委員会 片岡利雄 委員長

補助金管理について、クラブ参加資格、補助金管理の責任、財務管理計画、銀行口座に関する要件、補助金資金の使用に関する報告、書類の保管、補助金資金の不正使用に関する報告について説明致しました。

地区補助金小委員会

補助金担当グループ 大野康裕 リーダー

財団補助金制度の概要—地区補助金・グローバル補助金—について、ロータリー財団の使命、財団補助金には地区補助金、グローバル補助金があること、それらの実例、配分額、さらに当地区での地区補助金申請要項、グローバル補助金について、6重点分野、そしてDDF申請要項、地区補助金申請スケジュール(2015年)、地区補助金申請の留意点について報告致しました。

補助金小委員会 奨学金・学友・ロータリー平和フェロ ローシップ担当グループ 阪上博史 リーダー

国際関係、平和研究、紛争解決とその関連分野の修士号、あるいは平和と紛争解決の分野の専門能力修了証の取得を目指す学生にロータリー平和フェロシップを提供するロータリー平和フェロシップ生の募集、およびグローバル補助金奨学生の募集について説明の後、当地区は2013-14年度3名のグローバル奨学生が留学したこと、そして留学し帰国した福田真弓さんを紹介しました。

グローバル奨学生 帰国報告 福田真弓

～Harvard 公衆衛生大学院留学からみえてきた

臨床研究をめぐる我が国の現状と今後の課題～のタイトルで、国立循環器病研究センター 先進医療・治療推進部/脳血管内科医師である福田さんが報告しました。専門的研究でMPH(公衆衛生学修士号)取得のみならず、ロータリーの金銭的、人的サポート、人的交流、ロータリー財団奨学生としての誇りと使命感を持てたことがよかった。ロータリー財団奨学金は未来の日本(世界)を支えるリーダーを育成していく上でも重要な意味を持つと思う、と結びました。

講評・閉会挨拶

立野純三GEは、本日の財団セミナーに携わった財団部門各位に労をねぎらわれ、そしてクラブに対してプロジェクトへのチャレンジと検証をして頂きたい、と講評と閉会の挨拶をされました。

なお、地区ロータリー財団セミナーの詳細は、地区ホームページをご覧ください。

【グローバル補助金申請状況】

2013-14年度の補助金状況です。日本は特に奨学金の申請が多いと言えます。

グローバル補助金

	人道的	奨学金	VTT	合計
世界	655	171	29	855
ゾーン1-3	43	40	5	88
2660地区	7(10)	3	0	10(13)

【ポリオ症例数】

2014年9月2日現在のポリオ症例数です。

	2014年1月1日~9月2日	2013年
アフガニスタン	8	14
パキスタン	117	93
ナイジェリア	6	53
ポリオ常在国以外	18	256
世界合計	149	416